

最高学年としての"Reading Show"⑥

—過去の学習成果を最大限に発揮し、下級生の模範となる発表を行おう！—

1. 実施日 4 / _____ () [] 時間目 ※実施日はクラスによって異なる
2. 内容 教卓の場所で、テキストの自分の好きな箇所を制限時間内読み続ける。
3. 発表順 担当者の指示したとおり → ()
4. 読む箇所
 - ① 教科書コースか基礎英語コースのどちらかを選択することができる。※対象箇所注意
 - ② 読む場所は、教科書コースは New Crown 2 Lesson 8~FR3 (p.100~p.123) の本文
基礎英語コースは「基礎英語2」の1月号~3月号
5. 評価の観点

ア Read-and-Look up で1文1文を大切に読んでいるか。<態度>

イ 声量、個々の音や音のつながり、リズムやイントネーションが英語らしいか。<英語>

ウ 聞き手に伝わるように、表情豊かに、話しかけるように読んでいるか。<演出>
6. 発表手順 ※一部変更有り
 - ① 待機場所に移動し自分の順番を待つ（自分の順番を忘れずに！）。
 - ② レコーダーにSDカードを入れ、自分の順番が来るまで待機する。
※録音に失敗しないよう、SDカードが入っていることやスイッチONを確認する。
 - ③ 自分の真前の人の終了のチャイムが聞こえたら、●スイッチを押して録音を始める。
※直前の人の発表を録音する必要はない。
 - ④ 前の人が終わったら、素早く発表場所に移動し、該当箇所を開いて自分の判断で始める。
※前の人の終了の合図が自分の持ち時間の開始の合図である。早く読み始めればいっぱい読める。反対に、準備にもたついて開始が遅れば、それだけ発表時間が短くなる。
 - ⑤ 合図がなるまで先のページまで読み続ける。合図があったら途中でも終える。
 - ⑥ 読み終えたら、■スイッチを押して録音を終え、素早くその場を離れて次の人に譲る。
7. 聴取方法
 - ① テキストを開かずに仲間の発表を聞く。
 - ② 発表記録用紙の観点毎に一人一人の発表を評価して点数を記録する。
 - ③ 全員が発表を終えたところで、優秀者&前回より上達したと思う人の候補を投票する。
8. 注意事項
 - ・ショーが始まったら静粛にし、個人の練習は行わない。
 - ・ロス・タイムをなくすために、少なくとも2人は待機位置についているようにする。
 - ・評価の高い人と高くない人の理由を分析し、自分の読みに磨きをかけるためのヒントをつかむようにする。
 - ・最近、発表時に緊張感のない生徒が出てきている。特に男子の服装（襟ホック、シャツのボタン等）が気になる。ここぞという舞台でだらけた態度で臨むようではダメだ。
9. 準備及びまとめ
 - ① SDカード（使用中の物／専用の新しい物）を持ってくること。記録がないと、後で自己評価ができない。
 - ② 自分が選択した箇所を最高のレベルで読めるように十分な練習をしてくる。その際には、評価の観点（5参照）に留意する。今回は6度目であり、前回よりも上手に読めることが最低条件である。特に、今回は英語らしい個々の音や音と音のつながりに注意するとことはもちろん、ことばによる演技が3年生として最高レベルでできることを期待している。
 - ③ レポートは指示された内容をきちんとこなして提出すること。また、提出物の出ない生徒が固定されてきたので、その生徒は出直すこと！
 - ④ 今回も優秀者の他に個人として成長した人も表彰します。全員が表彰されるチャンス！